

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 3 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100562		
法人名	医療法人社団 林医院		
事業所名	グループホーム蛍の家		
所在地	広島県呉市倉橋町石持154番地1号		
自己評価作成日	令和4年1月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3473100562-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年2月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>海が見え、みかん畑があり、自然に囲まれたのどかな場所に当施設はあります。家庭的で落ち着いた雰囲気をお大切に、自分のペースで生活して頂けるよう支援しています。また、季節を感じていただけるよう一年を通して季節行事を行っており、暖かい日には散歩に出かけ、体操をしたり、歌を歌ったりと楽しんでいただいています。</p> <p>ご入居者様の思いを尊重し、困りごとがあれば傾聴して、その人らしく生活できるよう、一人ひとりに寄り添った個別ケアに努めています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>理念「思いやり介護」を基に職員が個々に目標を立て、日々介護を実践している。又、個々の目標は3ヶ月毎に振り返りや見直しを行い利用者の思いに寄り添う個別ケアに取り組んでいる。年2回、身体拘束しないケアの実践のため、研修や身体拘束対策委員会を定期的で開催し、意識統一を図っている。職員間で気づきを話し合う等、風通しの良い関係性が構築され環境作りがなされている。母体医療法人による週2回の往診、訪問看護による医療連携体制が整えていて安心して適切な医療が受けられるよう取り組んでいる。外出自粛の中で事業所内で出来る事の取り組みに力を入れており、コロナ禍により地域交流が困難であるが、終息後は地域との交流が今まで通り継続出来るよう取り組む考えである。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を掲示し、朝礼時に唱和することで意識づけをしている。又、個人目標を立て、達成できているか振り返り、職員間で共有している。	事業所理念を掲げ、自分なりの「思いやり介護」を個々に考え個人目標を立て、職員間で意識づけている。3ヶ月毎に業務を振り返り検証を行い全員で共有し、職員一人ひとりが理念を基本とした支援を実践できるよう資質の向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナ感染防止の為、面会の制限や外出を控えた。コロナ禍で地域との交流を見合わせているが、今後終息に向かい行事が再開されれば参加していきたい。	コロナ禍の状況下において地域交流は困難であるが、地域住民からの声掛けがあれば、出向くなど出来る範囲内で行っている。新型コロナウイルス感染症の終息が見られれば、今まで通りの祭りの参加など地域交流の継続に努める考えである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍で、地域の方々に向けての地域貢献は行っていない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年度はコロナ禍の為、開催できていない。関係各所に書面にて報告させていただいている。	コロナ禍で運営推進会議は資料（行事、勉強会、状況報告など）の書面にて報告をしている。以前は利用者、家族、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会長など参加が得られ、貴重な意見交換の場となっていた。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	呉市倉橋支所の担当者の方や、介護相談員と話し合い、助言をいただきサービス向上に努めている。	市町担当者に電話や出向いての相談や介護相談員による助言、運営推進会議資料の送付など日頃から連携を図り、協力関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職場内で研修を行い、身体拘束による弊害を理解し、意識統一を図っている。夜間は防犯の為、施錠しているが、日中は行っておらず、敷地内の施設を自由に行き来できるようにしている。	年2回の事業所内での研修、2か月に1回の身体拘束廃止対策委員会、日常の会話の中で職員間で注意し合う等、身体拘束しないケアを意識づけし、身体拘束をしないケアを日々実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に細心の注意を払っている。職場内で研修を行い、どのような行為が虐待にあたるのかを周知徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職場内で研修を行い、権利擁護の理解に努めているが、成年後見人制度について勉強する機会が少なく、今後、勉強する機会を設けていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時にはご利用者様、ご家族様に十分な説明を行い、ご不明な点等あれば納得いくまで説明し、同意を得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍で面会が難しい為、定期的にご家族様と連絡を取り、要望を伺っている。	面会が困難な中、家族とは電話や「蛭の家便り」を通じて日頃の様子を写真付きにて報告している。利用者からは日々の会話に耳を傾け、食べたい物など希望を聞き、出来る範囲内で希望が叶えられるよう対応している。	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は、日々職員からの意見や提案を聞くようにしている。又、管理者は、毎週月曜日に法人全体の朝礼に参加している。</p>	<p>毎月の勉強会や3ヶ月毎の個人目標の振り返り会議にて提案や改善に向けての意見を聞く機会を設けている。管理者が週1回法人全体の代表者会議にて検証を行い、サービス向上、改善に向けて取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務年数や意欲に応じて、資格取得や研修に向けての支援を行い、向上心を持って勤務にあたってもらおうよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年度末に1年間の研修計画書を作成し、月に1回、職場内で研修を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>オンライン研修に参加し、意見交換や情報収集を行い、ケアに活かしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始までに生活歴、経緯などを考慮し、信頼関係を築けるようにしている。又、要望等も職員全員で把握し、情報共有した上で支援するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様の思いや要望を聞く時間を十分に設け、確認した上でできる限りの対応を行っている。又、早急な対応を求めている相談者には、柔軟な対応を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	併設している小規模多機能のサービスの説明や、その他のサービスの説明も行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	できる事、できない事を見極め、一人ひとりに無理のない範囲で、職員と一緒にいき、双方の関係を築いていけるよう配慮している。コミュニケーションを大切にしご利用者様の気持ちを理解するよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に1度、日頃の施設での様子やイベントに参加された様子を写真に撮り、蛍便りでご家族様に送付している。また、電話や手紙などでも生活状況を細かくお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今年も引き続き、コロナ禍で原則面会禁止だったが、希望があれば窓越しや、玄関先で距離を保っての面会を受け入れた。外出支援は難しかったが、電話や手紙等で連絡を取り支援している。	今までの生活習慣から一人ひとりの馴染みの人や場など職員全員が把握し、面会時には雰囲気作りに努め、電話や手紙など関係継続出来るよう支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションやイベント等で交流の機会を設け、時には職員が間に入り交流がスムーズにいくよう努めている。また、敷地内の施設も行き来できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了した後も、ご家族様等の相談、支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様からも継続して聞き取りを行っている。また、ご利用者様の言葉や行動、表情などから思いを汲み取り、理解できるよう努めている。	日常生活をする中で、何気ない会話や表情の中から「畑をしたいなど」利用者の思いや意向を大切に受け止め、職員間で共有し、思いやりの気持ちを持って実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に、ご本人様とご家族様からこれまでの生活歴を聞いて、可能な範囲で多くの情報を収集し、今までと変わらない生活が送れるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしく生活できるよう、一人ひとりの生活リズムを尊重し、体調を考慮しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者会議にて、要望を聞き取り、ご本人様の思いを尊重し、又、ご家族様の思いも取り入れ、介護計画を作成している。</p>	<p>利用者、家族の意向を踏まえ、職員、関係者の意見やアイデアが反映された介護計画書を作成している。日々のケアの中で気づきや身体状況の変化を申し送りやフロア日誌にて共有し、定期的なミーティングや3カ月おきのモニタリングを実施し介護計画書の見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>朝夕の申し送りで、ご利用者様の様子や状態の変化、気づき等を報告している。定期的にミーティングを行い、情報を共有し、又、状態に変化があれば、その都度、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の思いや意向を、都度、確認し柔軟に対応できるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在は、コロナ禍の為実施されていないが、運営推進会議等で意見を聞き、支援を行いたい。又、地域との交流も行える支援をしていきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体法人の医療機関からの往診、訪問看護との連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。又、歯科、皮膚科等は専門医に受診し支援している。かかりつけ医への定期受診は、ご家族様が通院介助できない場合、施設職員が行っている。</p>	<p>契約時にかかりつけ医の希望を聞いている。殆どの利用者が母体法人協力医が主治医である。協力医による週2回の往診や訪問看護による連携体制を整えており安心して適切な医療が受けられる支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ご利用者様の体調に変化が生じた場合には、看護師に連絡し指示を仰いでいる。また、必要時には、医師に連絡できる体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には、密に連絡を取り合い、情報共有し、速やかに対応できるようにしている。又、退院時には、医療関係者、ご本人様、ご家族様と話し合いを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に看取りの指針を説明している。また、看取りが必要な状態になった場合、再度ご家族に説明し、書面による同意を得て看護師と連携し、24時間体制で経過観察ができるようにしている。	「看取りの指針」を説明し、契約時書面にて確認をしている。重度化した際は、家族、医師、看護師、管理者、職員など方向性を話し合い同意のもと、医療機関とも24時間連携体制を図り、職員全体で心のこもった穏やかな終末期の支援が行えるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職場内で研修を行い、職員全員が対応できるよう定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に生かせる技術を身につけるように、マニュアルを基に取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署にも協力していただき、年2回、防火訓練を実施し、指導、助言をお願いしている。	年2回、消防署協力のもと、防火訓練を開催、災害時の対応について指導、助言を受けている。マニュアルに沿って対応することや近隣の法人事業所の協力を得ることができるといった体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナー、プライバシーの研修を行っている。利用者様の人格を尊重し、尊厳のある接し方を務めている。	不適切なケアにならないよう勉強会や研修にて理解を深め、「人格を尊重し、尊厳ある接し方」が実践できるようにしている。日々の声掛けについても職員間でお互いに気づきを伝え合える関係性を構築し、日々意識を高く持ち取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを大切にすることで、自己決定の支援につなげている。意思決定が困難な場合でも、表情や反応から理解し、希望や願いを意図的に引き出せるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様の思いに沿った生活ができるよう、一人ひとりと話し、又、困りごとがあれば傾聴して支援するよう努めている。ご利用者様の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で生活してもらえよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご利用者様の希望や好みを尊重し、要望を聞きながら、一人ひとりに合わせた身だしなみ、おしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	肉や魚を好まれない方には、柔軟に対応し、別メニューで提供している。テーブル拭きや、下膳等、できる範囲で一緒に行って頂いている。	副菜は法人関連外部業者からレトルト食材が届く。汁物は事業所内で作った物を提供、時には利用者と一緒に作る事もある。畑で収穫した野菜を食事に取り入れ、行事・イベント時にはいつもと違ったメニューやお好み焼き、おはぎ作り等食を楽しむ工夫もしている。	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後、記録し把握に努めている。夜間、いつでも水分が摂れるよう、ペットボトルにお茶を入れ、居室へ置いている。一人ひとりの嚥下状態に合わせた形状で提供している。又、月1回、栄養士が施設を回り、管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、個々に合った口腔ケアを行っている。自歯の無い方も、口をゆすいでもらい、職員が確認し、清潔を保持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>立位保持が可能であれば、できるだけトイレで排泄してもらおうよう支援している。排泄表を使用して、排泄間隔の把握をし、プライバシー、自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。</p>	<p>利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、自尊心を損なう事のないよう声掛けにも工夫をし、トイレに座っての排泄を基本としている。適度な運動や乳製品、水分摂取など心掛け、自然排便に繋げている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄表で排泄状況を把握している。程度な運動や散歩と、水分摂取量の確認をし、乳製品の摂取を心掛けている。自然に排便があるよう支援しているが、状態によっては、ご利用者様に説明し、内服薬を使用してもらっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>大まかな予定はあるが、本人の体調、希望等を考慮している。自分のペースで入浴できるよう支援し、できる事はご自身でいただき、できないところのみ介助している。</p>	<p>基本週2回入浴である。利用者の体調や希望に考慮し、ゆっくりと入浴出来るよう心掛けている。浴室内は手すりなどを設置し、安全に入浴出来るよう支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>毎週シーツ交換をし、天気の良い日 には布団を干し、気持ちよく眠 れるように工夫している。空調も 一人ひとり調整し、安眠できる よう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>看護師より、処方されている薬 の説明を受けている。必ず手渡 しし、又は、手のひらに出し、 飲み忘れのないよう確認を行 っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの能力に応じて、役 割を分担して行ってもらってい る。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>以前は、桂が浜や公園、買い物 など、ご利用者の希望を聞き 出かけていたが、コロナ禍の 為、行えていない。</p>	<p>以前は外出行事として、公園や 買物など出かけていたが、外 出自粛の中で玄関先のベンチ に座っての外気浴や事業所敷 地内の散歩など、外の空気を 肌で感じてもらえるよう支 援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>ご家族様と話し合い、ご本人 様が小遣いを持てるようにし ている。欲しいものがあれば 職員が聞き、買い物支援を行 っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望に応じて、電話や手紙をやり取りできるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ダイルム等の共用スペースは、気持ちよく過ごせるよう、清潔に努めている。季節を感じて頂けるよう掲示物や花等を飾り、居心地の良い空間になるようにしている。</p>	<p>健康と衛生面にも気を配り、空調管理や換気などに努めている。室内に居ながらにして季節を感じてもらえるよう、四季の花や展示物が飾られ、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>フロアは日当たりが良く、テレビやカラオケを楽しまれている。居間で読書をされる方もいれば、外のベンチで過ごされる方もおられ、自由に過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様と話し合い自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。思い入れのある物に囲まれ、居心地よく過ごせるようにしている。</p>	<p>ベット、クローゼットなど備え付けられている。使い慣れた物や大切な思い出の品物が自由に持ち込まれ、場所は違っても自宅で過ごされたと同じように、居心地良く生活しやすいよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の身体状況や能力に合わせ、ご利用者様、ご家族様と相談しながら、家具の配置等、検討している。本人の残存機能を生かしつつ、安全に配慮した環境づくりを行い、状態が変化した場合には、その都度、話し合いを行い、整備している。</p>		

V アウトカム項目(蛍の家) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を掲示し、朝礼時に唱和することで意識づけをしている。又、個人目標を立て、達成できているか振り返り、職員間で共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナ感染防止の為、面会の制限や外出を控えた。コロナ禍で地域との交流を見合わせているが、今後終息に向かい行事が再開されれば参加していきたい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍で、地域の方々に向けての地域貢献は行っていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年度はコロナ禍の為、開催できていない。関係各所に書面にて報告させていただいている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市倉橋支所の担当者の方や、介護相談員と話し合い、助言をいただきサービス向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職場内で研修を行い、身体拘束による弊害を理解し、意識統一を図っている。夜間は防犯の為、施錠しているが、日中は行っておらず、敷地内の施設を自由に行き来できるようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止に細心の注意を払っている。職場内で研修を行い、どのような行為が虐待にあたるのかを周知徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職場内で研修を行い、権利擁護の理解に努めているが、成年後見人制度について勉強する機会が少なく、今後、勉強する機会を設けていく。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にはご利用者様、ご家族様に十分な説明を行い、ご不明な点等あれば納得いくまで説明し、同意を得られるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>コロナ禍で面会が難しい為、定期的にご家族と連絡を取り、要望を伺っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は、日々職員からの意見や提案を聞くようにしている。又、管理者は、毎週月曜日に法人全体の朝礼に参加している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務年数や意欲に応じて、資格取得や研修に向けての支援を行い、向上心を持って勤務にあたってもらよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年度末に1年間の研修計画書を作成し、月に1回、職場内で研修を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>オンライン研修に参加し、意見交換や情報収集を行い、ケアに活かしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始までに生活歴、経緯などを考慮し、信頼関係を築けるようにしている。又、要望等も職員全員で把握し、情報共有した上で支援するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛍の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	ご本人、ご家族の思いや要望を聞く時間を十分に設け、確認した上でできる限りの対応を行っている。又、早急な対応を求めている相談者には、柔軟な対応を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	併設している小規模多機能のサービスの説明や、その他のサービスの説明も行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	できる事、できない事を見極め、一人ひとりに無理のない範囲で、職員と一緒にいき、双方の関係を築いていけるよう配慮している。コミュニケーションを大切にし利用者の気持を理解するよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に1度、日頃の施設での様子やイベントに参加された様子を写真に撮り、蛍便りでご家族に送付している。また、電話や手紙などでも生活状況を細かくお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今年も引き続き、コロナ禍で原則面会禁止だったが、希望があれば窓越しや、玄関先で距離を保っての面会を受け入れた。外出支援は難しかったが、電話や手紙等で連絡を取り支援している。		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションやイベント等で交流の機会を設け、時には職員が間に入り交流がスムーズにいくよう努めている。また、敷地内の施設も行き来できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了した後も、ご家族等の相談、支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からも継続して聞き取りを行っている。また、ご利用者様の言葉や行動、表情などから思いを汲み取り、理解できるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に、ご本人とご家族からこれまでの生活歴を聞いて、可能な範囲で多くの情報を収集し、今までと変わらない生活が送れるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その人らしく生活できるよう、一人ひとりの生活リズムを尊重し、体調を考慮しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者会議にて、要望を聞き取り、ご本人の思いを尊重し、又、ご家族の思いも取り入れ、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>朝夕の申し送りで、ご利用者の様子や状態の変化、気づき等を報告している。定期的にミーティングを行い、情報を共有し、又、状態に変化があれば、その都度、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人、ご家族の思いや意向を、都度、確認し柔軟に対応できるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在は、コロナ禍の為実施されていないが、運営推進会議等で意見を聞き、支援を行いたい。又、地域との交流も行える支援をしていきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体法人の医療機関からの往診、訪問看護との連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。又、歯科、皮膚科等は専門医に受診し支援している。かかりつけ医への定期受診は、ご家族が通院介助できない場合、施設職員が行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の体調に変化が生じた場合には、看護師に連絡し指示を仰いでいる。また、必要時には、医師に連絡できる体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には、密に連絡を取り合い、情報共有し、速やかに対応できるようにしている。又、退院時には、医療関係者、ご本人、ご家族と話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に看取りの指針を説明している。また、看取りが必要な状態になった場合、再度ご家族に説明し、書面による同意を得て看護師と連携し、24時間体制で経過観察ができるようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職場内で研修を行い、職員全員が対応できるよう定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に生かせる技術を身につけるように、マニュアルを基に取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署にも協力していただき、年2回、防火訓練を実施し、指導、助言をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナー、プライバシーの研修を行っている。利用者の人格を尊重し、尊厳のある接し方を務めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを大切にすることで、自己決定の支援につなげている。意思決定が困難な場合でも、表情や反応から理解し、希望や願いを意図的に引き出せるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の思いに沿った生活ができるよう、一人ひとりと話し、又、困りごとがあれば傾聴して支援するよう努めている。利用者の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で生活してもらえるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望や好みを尊重し、要望を聞きながら、一人ひとりに合わせた身だしなみ、おしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	肉や魚を好まれない方には、柔軟に対応し、別メニューで提供している。テーブル拭きや、下膳等、できる範囲で一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後、記録し把握に努めている。夜間、いつでも水分が摂れるよう、ペットボトルにお茶を入れ、居室へ置いている。一人ひとりの嚥下状態に合わせた形状で提供している。又、月1回、栄養士が施設を回り、管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、個々に合った口腔ケアを行っている。自歯の無い方も、口をゆすいでもらい、職員が確認し、清潔を保持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>立位保持が可能であれば、できるだけトイレで排泄してもらうよう支援している。排泄表を使用して、排泄間隔の把握をし、プライバシー、自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄表で排泄状況を把握している。程度な運動や散歩と、水分摂取量の確認をし、乳製品の摂取を心掛けている。自然に排便があるよう支援しているが、状態によっては、利用者に説明し、内服薬を使用してもらっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>大まかな予定はあるが、本人の体調、希望等を考慮している。自分のペースで入浴できるよう支援し、できる事はご自身でいただき、できないところのみ介助している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛍の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>毎週シーツ交換をし、天気の良い日 には布団を干し、気持ちよく眠れ るように工夫している。空調も一人 ひとり調整し、安眠できるよう支 援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている。</p>	<p>看護師より、処方されている薬の 説明を受けている。必ず手渡しし 、又は、手のひらに出し、飲み忘 れのしないよう確認を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている。</p>	<p>一人ひとりの能力に応じて、役割 を分担して行ってもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	<p>以前は、桂が浜や公園、買い物な ど、利用者の希望を聞き出かけ ていたが、コロナ禍の為、行え ていない。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている。</p>	<p>ご家族と話し合い、ご本人が小遣 いを持てるようにしている。欲し いものがあれば職員が聞き、買 い物支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	要望に応じて、電話や手紙をやり取りできるよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ダイルーム等の共用スペースは、気持ちよく過ごせるよう、清潔に努めている。季節を感じて頂けるよう掲示物や花等を飾り、居心地の良い空間になるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアーは日当たりが良く、テレビやカラオケを楽しまれている。居室で読書をされる方もいれば、外のベンチで過ごされる方もおられ、自由に過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人、ご家族と話し合い自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。思い入れのある物に囲まれ、居心地よく過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の身体状況や能力に合わせ、利用者、家族と相談しながら、家具の配置等、検討している。本人の残存機能を生かしつつ、安全に配慮した環境づくりを行い、状態が変化した場合には、その都度、話し合いを行い、整備している。		

V アウトカム項目(蛍の家2) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム蛍の家

作成日 令和4年3月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	看取りの研修を実施できていない。	マニュアルを基に研修を行う。	チームでケアしていける体制を整える。	3か月
2	3	運営推進会議の議事録が簡略で分かりにくい。	事例、及び対応状況を明確にする。	ヒヤリや事故等の原因や再発防止策を記入し理解しやすい内容にする。	3か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。